

2021 年 8 月 19 日
株式会社エネ・ビジョン

蓄電池発電所に関わる EPC 工事受注について

株式会社エネ・ビジョン（本社：名古屋市千種区、代表取締役社長：須藤 康文、以下「エネ・ビジョン」）は、株式会社グローバルエンジニアリング（以下「グローバルエンジニアリング」）より、北海道千歳市に設置される蓄電池発電所「北海道・千歳バッテリーパワーパーク（以下、本パーク）」の設計、調達、建設業務を請け負う EPC 工事を受注しました。

本パークは、電力卸市場・需給調整市場・容量市場への参加を予定しており、これらによる収益化を見込むことにより拡大展開を図り、より一層の再エネ電力の導入拡大、電力系統の安定化に貢献出来るものと考えています。

エネ・ビジョンは、今後も蓄電池に関わる EPC 工事事業の拡大に向けた取り組みを推進していきます。

【当社の概要】

■株式会社エネ・ビジョン

設立	2002 年 3 月
本社所在地	愛知県名古屋市千種区今池 4 - 1 - 2 9
代表者	代表取締役社長 須藤 康文
事業内容	コージェネレーションシステム、新エネルギー、省エネルギー設備の設計、施工、メンテナンス、バイオマス発電事業、電力小売り事業など

以上

ー以下、グローバルエンジニアリング プレスリリースー

2021 年 8 月 19 日

株式会社グローバルエンジニアリング

報道機関各位、お客様各位

再エネ電力の需給調整業務と日本初の系統用蓄電池発電所（※） 「北海道・千歳バッテリーパワーパーク」設置に向けた準備開始のお知らせ

株式会社グローバルエンジニアリングは、将来のF I P制度を見据えた再エネ電力の普及拡大とコストの低減に向け、「再エネ電力の需給調整業務（再エネ・アグリゲーションB G）」（以下、本需給調整業務）の受託を目指すこととしましたので、お知らせ致します。

これはグローバルエンジニアリングがアグリゲーター事業者として、全国各地に点在する太陽光発電などの再生可能電力を、節電等により生み出されたネガワット電力や自家発電設備、さらにはテスラ社製 大容量・高性能蓄電池による貯蔵電力と同一balancingグループにより運用することにより、再生エネルギー最大の弱点であった発電量の変動を発電機・蓄電池等により吸収し、出力の安定化を図ります。

これにより、再エネ電力の一層の拡大普及拡大とコスト低減に向け、貢献出来るものと考えています。

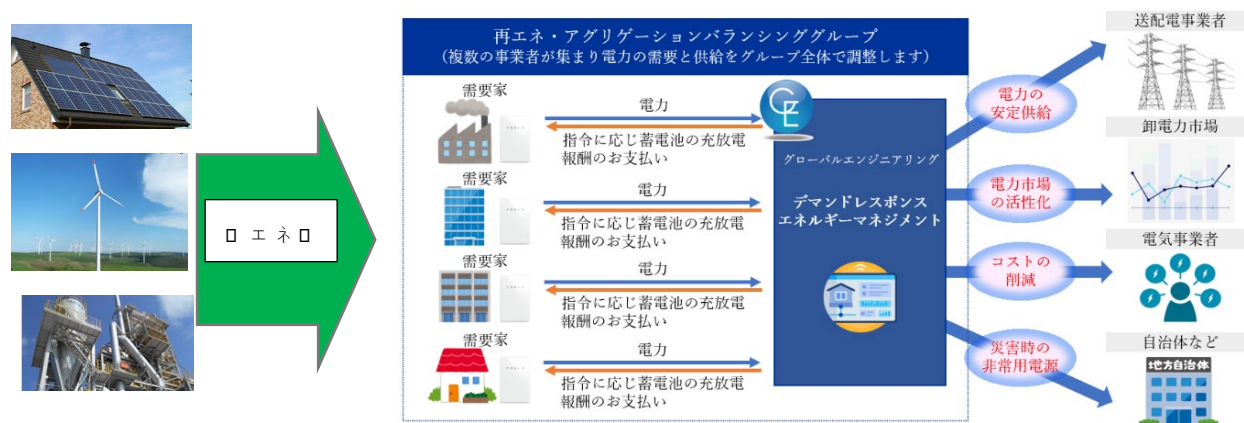


図1. 再エネ電力の需給調整業務（再エネ・アグリゲーションB G）のイメージ

（※ 日本初とは、変電所、風力発電所等に付置する蓄電池を除き、単独で系統に設置し、卸売市場、容量市場、需給調整市場等に対応する独立系の蓄電池発電所として）

本需給調整業務の核となる蓄電池には、テスラ社製 Megapack を採用する事を決定致しました。テスラ社の蓄電池の特性（大容量、系統が求める電力特性、ネットワークによる24時間監視制御など）を最大限活用することにより、電力卸売市場に加え、現在導入が進められている需給調整市場や容量市場への参画を通じ、電力系統の安定化にさらに寄与して参ります。



図2. テスラ社製 大型蓄電池 Megapack

本需給調整業務の一環として、北海道千歳市内に日本初（※前述）の蓄電池発電所「北海道・千歳バッテリーパワーパーク」（以下、本パーク）設置に向けた工事を開始し2022年に運用を開始する予定です。

なお、工事の設計、調達、建設等については、（株）エネ・ビジョン社とEPC契約により進めて参ります。

本パークでは電力卸市場・需給調整市場・容量市場への参加を予定しており、これらによる収益化を見込むことにより拡大展開を図り、より一層の再エネ電力の導入拡大、電力系統の安定化に貢献出来るものと考えています。

また、停電時には、近隣の地域住民等へ電力供給（携帯、PC等の充電や当社展示館への一時避難等）を行い、地域住民と密着した蓄電池発電所として運営する予定です。

以上

<お問い合わせ先>

（株）グローバルエンジニアリング 事業推進室

E-mail : business-promotion@g-eng.co.jp

<参考>

1. (株) グローバルエンジニアリングの事業概要

■株式会社グローバルエンジニアリング

代表取締役：高橋 宏忠

創業：1991年10月、資本金 304,000 千円、従業員 60 名

事業概要：発電機の販売・メンテナンス、需要家様側の省エネルギー事業、電力需要調整事業、蓄電池による電力貯蔵技術を活用した再生エネルギーの導入促進

事業所：福岡本社、東京支社、北海道支店、大阪支店、名古屋営業所、沖縄営業所、福岡工場

ホームページ：https://www.g-eng.co.jp/

2. 当社の取り組みについて

グローバルエンジニアリングは、1991年に発電機の販売・メンテナンスを主要事業として創業して以来、需要家様側の省エネルギー事業、電力需要調整事業など、最先端の技術開発に取り組んで参りました。

今後は、蓄電池による電力貯蔵技術を活用し、再生エネルギーの導入促進、ひいては日本における脱炭素化の一助を目指し取り組んでいます。

特に、近年注目されている蓄電池を含めた分散型電源（DER:distributed energy resources）の性能向上により、更なる活用の可能性に着目し、発電・系統側での電力需給機能を保持した蓄電池等の設置について精力的に取り組んでおります。

系統側に蓄電池を設置することにより、上述した再生エネルギーの弱点である天候による出力変動の補正や、電力事業の特徴である「発電と需要の同時同量」達成、電力事業制度の改革を見据え、一歩先の取り組みを進め続けて参る予定です。

以上